

広島みらいづくり2011

立候補予定者公開討論会マニフェスト

【～みんなで共に考える広島のみらいづくり～】

氏名 くわて 恭子 (印)

I 基本理念『広島市政の現状認識・目指すべき広島市の姿』

(現状認識) 市債の実質残高は減少し、基金も目標の50億円を維持しており、財政状況は良くなっている
との当局の認識だが、経常収支比率は96.2%と、自由に使える収入のほとんどが義務的経費で消化しており新規事業が出来る状況ではない。義務的経費中、人にかかるとしては、優に1300億円を超えているが
人件費についての削減は進んでいない。子どもの医療費の無料化も遅れている。平和行政は、市長一人がかまか回るだけで将来に担い手が育っていない。行政は平和行政が中心になっていた感じを受けていた。
(目指す姿) 誰もが安心して暮らせる広島市
誰もが安心して暮らせる町とは、第一に福祉や教育、町づくりなどの充実した、住民から信頼される広島市
ということです。次に、住民が国内や海外に誇れる国際平和文化都市として、防犯はもとより経済的にも安全・安心が体感できる都市を構築したい。

II 短期で行う重要施策(1年以内) ※優先順3つ

①財政再建(人件費削減)
市長退職金の廃止、市長の報酬半減についての条例改正の提案
市長、議員について、ボーナスの2割加算の廃止条例を提案
②個人市民税、法人市民税の恒久減税10%
減税についての検討と条例の提案
前例主義を改め、住民への情報公開を究極まで実施して事務事業を徹底見直しする
③子ども施策の充実 / 児童の医療費無料化
高校生(18歳)までの、医療費の無料化を実施
学校現場へ指導員、教職員の加配を実施

III 中期で行う重要施策(4年以内) ※優先順3つ

①財政再建(人件費削減)
行政委員会の報酬見直し
公務員人件費2割削減に向けて検討、段階的に実施
②雇用の確保
公務員の時間外労働の削減に向けての取り組み
時間外賃金を活用した雇用確保の実施
嘱任職員、臨時職員の働き方、給与改善の実施
③子ども施策の充実 / 小学校、保育園などへの職員の加配
雇用の確保とも重複するが、各小学校、保育園など慢性的に人手不足の現場に、資格の有無にかかわらず民間人を採用し、教員のサポートを行う

IV 長期で行う重要施策 ※優先順3つ

①核兵器廃絶、平和発信の担い手の育成
平和市長会議について会費の導入と、平和市長会議としての活動の明確化を行う
長崎、沖縄と連携した平和発信の充実。若者から小学生～高校までの平和教育の充実
②観光の充実 スポーツの充実
宮島、原爆ドームを活用した観光メニューを充実させる。民間人の採用を行い、発想をフレッシュに…
カーブ、サンフレッチェを活用した観光の充実とスポーツ選手の強化、子どもたちのスポーツ振興
③住みやすく、美しい町づくり
現在始まっている広島駅自由通路の実施と広島空港へのアクセスの改善への取り組みを県市共同で行う
高齢社会を見据えたインフラ整備と高齢者の交通手段の確保

プロフィール

氏名 **くわた 恭子**

1961年（昭和36年）11月29日生まれ 49歳

東広島市高屋町出身

県立賀茂高校卒業

京都芸術短期大学卒業後、就職

1986年（昭和61年）結婚、出産 子育てをする中、PTA会長、

子ども会学区長など地域活動を行う

2003年（平成15年）4月、広島市議会議員に初当選

現在 広島市議会議員 2期目

佐伯区子ども会連合会 副会長

彩が丘地域安全推進隊 隊長

保護司

家族 夫・娘・息子の4人家族